

同一品種での8、9月需要期出荷が可能な

夏秋咲き小ギクの露地電照栽培

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花きー小ギクー開花調節

2 担当者

鈴木安和、高田真美

3 要旨

夏秋小ギクの露地電照栽培において、電照により高精度に開花を調節し8月盆、9月彼岸の需要期に集中して開花させることは、高い花芽分化抑制効果の見られる品種‘精ちぐさ’、‘精こまき’を用いれば、消灯日を変えることで可能である。

(1) ‘精ちぐさ’、‘精こまき’の消灯日から開花盛期までの平均到花日数は、8月旧盆出荷では‘精ちぐさ’が45日、‘精こまき’が54日、9月彼岸出荷では‘精ちぐさ’が42日、‘精こまき’が41日となるため、消灯日によって福島県内で8月から9月の需要期に開花盛期(開花50%)を調整できる。

表1 消灯日と開花盛期

品種	目標開花時期	消灯日 (月/日)	開花盛期 (月/日)	電照	
				消灯日～開花盛期 (日)	採花幅 (日)
精ちぐさ	8月旧盆	6/12	7/27	45	3
		6/19	8/3	45	2
		6/26	8/10	46	3
	9月彼岸	7/26	9/7	43	5
		8/2	9/11	41	2
		8/9	9/21	43	3
精こまき	8月旧盆	6/12	8/5	54	3
		6/19	8/13	56	4
		6/26	8/17	52	5
	9月彼岸	7/26	9/6	42	2
		8/2	9/12	41	3
		8/9	9/18	40	2

開花盛期は開花率50%の月日

定植は8月開花を4月下旬～5月上旬、9月開花を5月下旬～6月上旬に行っている。また、育苗から消灯日まで白熱灯(みのり電球)で22時から4時の6時間電照である。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度～26年度
- (2) 研究課題名 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料